

令和元年 6 月 19 日

## 令和元年東京都議会第 2 回定例会を終えて（談話）

都民ファーストの会東京都議団 幹事長 増子博樹

昨日発生しました新潟県や山形県等における地震災害について、災害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧と復興を願い、私たちが引き続き、災害対応に取り組んで参ります。

本定例会は令和新時代となって初の本会議でした。全世界から注目が集まる東京 2020 大会を契機に、世界の諸都市より先に突入する超高齢社会を東京の次なる成長の起爆剤とする取組が必要です。都が策定中の新たな長期計画が、多様な課題の解決に向けて東京の叡智を結集し、今日より明日が良くなるという希望を都民に示すものになるよう、今後も積極的に提言して参ります。

都内の待機児童数は、昨年比べて保育所等の利用申込数が大きく増加したにもかかわらず、四半世紀ぶりの水準である約 3700 人となる見込みと公表され、これは小池知事就任直後の 2017 年 4 月の 8,586 人と比較すると約 57 パーセントの減少です。小池都政の非常に大きな成果ですが、待機児童はいまだ約 3700 人存在しており、私たちが待機児童解消に向け施策をさらに加速して参ります。

加えて、女性活躍の更なる推進のため、男性の育休取得等の促進、都営地下鉄の子育て応援スペース、妊娠適齢期等の普及啓発、こどもの通学の安全確保などの取組を前進させることができました。

高齢運転者の交通事故が相次ぐ中、小池知事からは緊急対策として、踏み間違いによる急発進の防止装置に対し、受付開始後一年間は、費用の一割程度の自己負担で装着できるよう支援を行っていき考えが示されました。私たちの緊急要望を踏まえた迅速かつ実効的な対応であり高く評価します。今後も、運転免許を自主返納された方々への特典の拡充など、対策を更に強化していくことを求めて参ります。

さらに、高齢者や就労困難者への就労支援、受動喫煙対策、ひきこもり支援などの取組も前進させることができました。

東京の都市力の強化としては、伝統的な各種インフラの整備に加え、新しいインフラといえるテクノロジーが重要であり、今後も積極的な活用を求めて参ります。

開幕が間近に迫ったラグビーワールドカップ、そして東京 2020 大会については、訪問客が都内全域を訪れるための仕掛け、円滑な大会輸送の実現と安定的な都民生活の確保に向けた取組に加え、東京 2020 大会の新規恒久施設について、公益性に加え収益性確保にも最大限対応した運営を行うことを求め、文教委員会では局長から「収益性確保に取り組む」との答弁が得られました。引き続き、大会準備の総仕上げを行い、成功に収めるとともに、大会を東京の次なる成長のきっかけとする取組を加速させて参ります。 以上